教育長通信　NO.59

2026.Nov.

# ようこそ　教育長室へ

教育長　高木 秀人

前回に引き続き、9月定例市議会のご報告をします。

## 1.　代表質問での主な質疑（続き）

### ○「ミニみどり号」の活用・運用【中町けい議員（いちかわ市民クラブ）】

（議　　員）6月議会の補正予算で承認された「ミニみどり号」について、幼稚園や保育園などに出張し、子どもたちへの読み聞かせを含めた、今後の活用や運用を伺う。

（教育振興部長）令和8年6月から14の幼稚園、保育園に大型絵本の配本。現在は希望が大変多く、運行スケジュールが埋まってしまい、相当数の申し込みから、抽選により施設を絞って配本のみの状況。今後は、「出張おはなし会」や英語絵本の読み聞かせも検討。

### ○ 広島への修学旅行【細田伸一議員（自由民主の会）】

（議　　員）以前、修学旅行で広島に行く提案をした。その後の状況を伺う。広島は80年前の悲惨なことだけでなく、大和ミュージアムなど、過去の日本を守ろうとした日本人の誇りがある。

（学校教育部長）令和8年度は、中学校1校が広島への修学旅行を実施。令和9年度は、別の1校が広島方面への修学旅行を計画していることを把握。

## 2.　一般質問での主な質疑

### ○ 学校火災を踏まえた実践的な研修・訓練【丸金ゆきこ議員（地域政党チームいちかわ）】

（議　　員）今後、避難器具設置校で教職員を対象とした定期的に操作の研修を行う必要性や、消防局や専門業者と連携して避難器具を実際に使用した訓練を行う考えを伺う。

（学校教育部長）北区の事故を受け、避難器具が設置されている学校において、教職員を対象とした定期的な操作に関する研修を実施する必要がある。消防局や業者と協議を行い、実際に避難器具を使用した訓練を定期的に実施するよう指導する。

### ○ 全国国府サミットを風化させない AR 映像の周知【岩井清郎議員（創生市川・自民党）】

（議　　員）全国国府サミットは田中市長が第5回に初めて出席して市川市に決まった。サミットを風化させずに、国府台スタジアムで昔の風景が AR 映像で見られることを市民に説明すべき。

（教育振興部長）国府台スタジアムには VR 映像・AR 映像を体験できるポイントが3か所ある。今後は、スタジアム来場者に 国衙の映像体験を案内する説明版を追加し、市公式ウェブサイトによる周知を充実させるなど、より多くの方に認知いただけるよう取り組みたい。

### ○ 生産者との交流など学校教育での食育【太田丈之議員（無会派）】

（議　　員）米生産農家と学校を結び、田植え、稲の生長、稲刈り、給食で食べるところまでを一つの食育プログラムとして学ぶなど、生産者との交流を学校教育に取り入れることの見解如何。

（学校教育部長）小学校低学年生活科で旬の食材に直接触れる体験活動、中学年社会科でなし農家の見学や受粉作業等の体験、高学年で稲作体験、給食で「行事食」の提供、地場産物を取り入れ、学校給食を「生きた教材」として活用し、様々な場面で食育に取り組んでいる。

### ○ 小学校低学年への不登校支援【川畑いつこ議員（公明党）】

（議　　員）幼い時期に初期対応を誤れば、不登校の長期化や社会的孤立に直結も思料。学校以外の受け皿のない小学校低学年に、どのような心理的・空間的アプローチを行っているのか。

（学校教育部長）小学校1～3年生の児童も、教育相談や「ほっとホッと訪問相談」などを通じて、児童や保護者と寄り添いつつ、校内教育支援センターなどの利用を目指す。「こども館」「ぴあぱーく妙典 COCO」は、学校のある平日の時間帯も、開館時間は居場所として利用可能。

### ○ フリースクール利用家庭の経済的負担と支援【とくたけ純平議員（無会派）】

（議　　員）フリースクールを利用する家庭の経済的負担、支援の必要性を調査対象にできないか。フリースクールで居場所を確保して、成長している子どももいる。

（教 育 長）子どもの教育は、設置基準に基づく施設設備、免許を持った教員、学習指導要領に則った教育活動が最善と認識。学校の認可で、県から支援が受けられる。しっかりとした体制での学びが子どもの最善の利益。この25年間の規制緩和で学校の認可は受けやすくなった。